

令和4年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1(22番) 横尾 秋洋	1 行財政改革の取組について	(1) 第六次総合計画の進捗はどのような状況か。また、計画の推進に向けてどのような取り組みを行っているのか
	2 今後の市政運営への思いについて	(1) 市長就任3期の実績及び今後の課題は (2) 4期目に向けての思いは
2(9番) 坂口 勝彦	1 持続可能な働き方について	(1) 「労働者協同組合法」の施行に伴い、市はどのように認識されているか
		(2) 普及啓発など積極的に支援を行うべきでは
3(1番) 西村 和子	1 市民の求める地域公共交通の充実について	(1) 運転免許証自主返納者への支援についての調査進捗状況は
		(2) 運転免許返納後も生活に支障のない環境整備に向けて求められる姿は。そのための市の取り組みは
		(3) コミュニティバス・御笠自治会バス・カミーリヤバスのカミーリヤを結節点とした利用の状況の実績は
		(4) 地域で取り組む助け合いの交通支援についての市の考え方と支援、実現に向けて地域に求められるものは何か
		(5) 地域公共交通への市民の理解を進めるために広報に力を入れるべきではないか
4(13番) 平嶋 正一	1 J R二日市駅地区整備事業について	(1) 同事業の事業費の約9割が3年度から4年度に繰越されているが、その理由を問う
		(2) 同事業が予算措置された経緯を問う
		(3) 同事業の事業費の大半が繰越されている結果からみて予算計上に問題はなかったのか市の見解を問う
5(3番) 前田 倫宏	1 公営墓地の設置・運用について	(1) 墓地需要・供給の動向を調査し、墓地の設置等に関する計画の策定が必要だと考えるが、本市の見解は
		(2) 国は、墓地経営主体は市町村等の地方公共団体が原則であるとの指針を示しているが、本市の見解は
		(3) 本市の将来都市像に相応しい樹木葬等を含む公営墓地の整備が必要だと考えるが、本市の見解は
	2 保育所の待機児童について	(1) 保育所の入所者数状況を「見える化」し、待機児童数の把握に努めるべきだと考えるが、本市の見解は
		(2) 保育所整備計画と更なる保育の受け皿となる整備量の拡充が必要と考えるが、本市の見解は
		(3) 保育士確保の取り組みとして、保育士転入の際の助成事業を検討すべきだと考えるが、本市の見解は
6(6番) 八尋 一男	1 竜岩自然の家への民間資金の活用について	(1) 令和元年12月に稼ぐ指定管理者制度の導入の一環で15項目を提言したが実施された内容はあるのか
		(2) 多様な方策を研究するとの答弁だったが具体的な検討内容は
		(3) 利活用拡大と管理費24百万円の削減のため、民間のノウハウを活用したパークPFIの導入をしてはどうか
	2 有害鳥獣対策の強化について	(1) 駆除班の日当換算3千円では活動に限界。能動的活動のために国の捕獲経費に市独自の上乗せをすべでは
		(2) 捕獲を強化するためには、駆除班の活動を支援する会計年度任用職員の採用が必要と考えるが市の見解は
		(3) 捕獲推進は最優先事項ではあるが、捕獲後の処分方法の支援も必要ではないか
		(4) 自治体を跨り越境して、いのしし捕獲が出来る特別措置を県に要望してはどうか

令和4年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
7(2番) 段下 季一郎	1 子どもの命を守る対策について	(1) 命を守るためのITツールを導入すべきと考えるが市の見解は
	2 小中学生の不登校支援について	(1) 福岡県立大学「不登校・引きこもりサポートセンター」を活用した教職員研修をすべきと考えるが市の見解は
		(2) 不登校児童への貸し出し用タブレットに学習支援アプリを導入すべきと考えるが市の見解は
		(3) 筑紫女学園大学と連携し、キャンパススマイル事業を導入すべきと考えるが市の見解は
3 自然保育の導入について	(1) 自然保育の導入すべきと考えるが市の見解は	
8(18番) 田中 允	1 西小田橋の架け替や西小田地区の道路拡幅について	(1) ボーリング調査や現地調査が実施されたが進捗は
		(2) 狭溢箇所の改善について県との協議はどの様になされているのか
	2 小中学校での教員不足はないのか	(1) 教員不足はないのか現状は
		(2) 教師のアシスタント(サポーター)の導入はできないか
	3 学校部活の外部指導者導入について	(1) スポーツ庁の有識者会議で、公立中学校の部活について、休日の地域移行が提言されたが市の方針は
	4 保育所の待機児童について	(1) 現在の待機児童数は何名か
5 藤田市長の4期目について	(1) 3期11年を振り返って藤田市長の胸中は	
	(2) 藤田市長の市政報告会で、4期目に向けて来賓や後援会の熱い期待が寄せられたが、自身の進退は	